

# 大草谷津田いきものの里 自然観察会

## オニヤンマとアカトンボ

石嶋基次（千葉市）

日 時：2015年 9月20日（日） 10時30分～12時

天 候：晴 気温 27°C

参加者：41名（大人 24名 子ども 17名）

担当指導員：太田慶子、石嶋基次

豪雨続きの天気も彼岸を迎えて晴天が続いており、良い観察日和になりました。前日に下見を行い開催時間頃のトンボの飛翔状況を確認、当日も開催前に観察地点のトンボの飛翔も再確認。しかし両日ともトンボの数が少なく期待出来ない状況でした。シルバーウィークなので参加者は少ないと思っていましたが、総員41名と多数の参加者があり、ビックリ。父母と子供の家族参加組は補虫網を持って元気一杯でした。

大草谷津田の経緯とスズメバチ対策など注意事項の説明後、テーマの「アカトンボ」について話しました。赤い色のトンボをアカトンボと思う人もいるので図を使ってアカネ類の分類を説明。赤くてもアカトンボと呼ばない種もあることを知ってもらいました。

大草の主の「オニヤンマ」は今年3回目の観察になりましたので、オニヤンマの特徴と生態を少し話し、後は現地で実物捕獲をしながら説明をすることにして、網を持って谷津田に降りました。人数が多いので2班に分け参加した指導員の協力を頂きました。

谷津田は実った稻が雨で倒れており、変わった田んぼの姿に参加者もビックリでした。刈り取った稻を干す為の稻掛け竿の上にはノシメトンボが止まっていましたが、大勢の捕獲に驚いて逃げ回り上手く捕獲が出来ません。

今回も捕獲したトンボの種別・性別・全長を記録し、翅にマークを付けて放しました。成果は合計8頭と人数の割には寂しいものでした。

ノシメ ♂4 ♀1 オオシオカラ ♂1  
シオカラ ♂1 オオアオイトンボ ♂1  
大草の主のオニヤンマが1頭も捕獲出来ず残念な事でした。オニヤンマの棲む水路の整備が昨秋行われ春の観察会のヤゴ調査も全滅でしたので頭数が激減しています。長期に渡る生育環境の保全対策が必要でしょう。

今年は各地でトンボの数が少ないと情報があり、大草でも同じ現象が起きています。気象変動か、農薬問題か原因は不明です。非常に心配される事態です。

トンボ観察会を楽しみにして来た子供達には、少しきびしい1日でしたが、これに懲りずに来年も観察会に参加して欲しいものです。

